

しあわせ

vol.516

2016年6月

H a p p i n e s s



千葉開府 千葉市のルーツ「千葉氏」
890 890年前、
このまちが開かれた。
1126-2016

千葉市立郷土博物館(千葉城)・千葉市

法律相談 労働相談 暮らし相談 子育て 多重債務

●ひとりで悩んでいませんか?

暮らし何でも無料相談

ちばライフサポートセンター

☎ 0120-53-4141



一般社団法人千葉県労働者福祉協議会

第3回 定時総会 開催!

去る5月26日(木) 14時30分から、千葉県労働者福祉協議会第3回定時総会を全労済千葉県本部会議室において開催しました。

第3回総会は、日高副会長の開会挨拶に始まり、資格審査報告、そして議長選出を行い、議長には、連合千葉「横田」氏を選出しました。横田議長は、就任にあたり「貧困と格差拡大が進んでいる。千葉県労協の果たす役割は大きくなっている。」との労協への期待を込めた挨拶がされました。黒河会長挨拶では、冒頭、熊本地震へのお悔やみ・お見舞いと対応について触れられ、その後、



黒河会長挨拶

一般社団法人移行2年による事業の枠組みの整備状況や奨学金問題等各種取り組みに触れ、「公助を求めただけではなく、共助の取り組みが大事」との挨拶がされた。その後、ご来賓の連合千葉鈴木会長、千葉県商工労働部篠崎次長からご挨拶を頂くとともに、千葉県商工労働部雇用労働課、千葉市経済企画課のご来賓及び千葉県労協岡田顧問が紹介されました。

議事に入り、この1年間の事業報告と予算執行状況について小柳常務理事より、監査報告を福島監事から報告があり、続けて、2016年度事業計画(案)、予算(案)を小柳常務理事より、役員の一部改選を丸山副会長より提案されました。決議は、議決権を有する会員の挙手でを行い、その後参加者全員



横田議長



による拍手で確認する方法で行い全承認可決されました。その後、退任された染谷前理事(野田地区労協)、新任の津崎理事(野田地区労協)、八木監事(全労済千葉県本部)から挨拶を頂きました。全ての議事終了により書記及び議長解任、そして細根副会長の閉会挨拶で第3回定時総会が終了しました。

黒河会長めいざし



来賓 連合千葉 鈴木会長



開会挨拶 日高副会長



報告・提案
小柳常務理事



来賓 千葉県商工労働部
篠崎次長



監査報告 福島監事



提案 丸山副会長



新任の津崎理事
(野田地区労福協)



新任の八木監事
(全労済千葉県本部)



閉会挨拶 細根副会長



退任された染谷前理事
(野田地区労福協)

千葉県労働者福祉協議会第3回定時総会開催に当たり、主催者を代表してご挨拶を申し上げます。総会に出席いただきました会員の皆様、そして忙しい中來賓として出席していただきました皆様に感謝申し上げます。

まずは4月半ばに起きた熊本地震により亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。発生から1か月を過ぎましたが余震が続く避難生活を余儀なくされている方も多く、継続的な支援が欠かせません。今日まで、連合、労金、労済、生協という労福協加盟団体の特性を發揮した現地を支える活動に取り組みられておりますが、労福協

としても中央労福協や加盟団体との連携により役割を果たして参りたいと思います。

さて、昨年度は千葉県労福協が一般社団法人に移行して2年目の取り組みとなりました。定款において、労福協が実施する事業を9つの分野に区分して、それぞれ具体的事業の展開を進めて参りましたが、2年目の取り組みにより千葉県労福協の基本的な活動の枠組みが整いつつあると感じています。詳細は常務からの活動報告に委ねますが、皆様にもそのような観点でご理解いただければ幸いです。特に、各団体間の連携を密にするために設定した「構成団体代表者会議」や「構成団体事業推進実務者会議」の開催も定着し、ライフサポート事業の充実のため設置した「運営委員会」も動き始めました。言いつてもなく労福協の発展は、連合など労働組合、労金、労済、生協の発展が欠かせません。

各団体・会員が相互の活動や課題を共有し協力し合うところが力を發揮することになります。「利用促進・共助拡大」の旗を掲げて本年も取り組んで参ります。

昨年から今年にかけて、中央労福協の取り組みとして「奨学金問題」を進めて参りました。特に、アンケートと署名活動を各団体の皆さんにご協力いただきましたことに改めて御礼申し上げます。アンケートは今日の学生の置かれた状況や奨学金の実態をリアルに明らかにし、中央でのまとめた結果は多くのマスコミに取り上げられ問題提起、世論喚起の役割を果たしました。また、署名は千葉でも17000筆以上、全国では303万筆が集まり、与野党、そして政府にこの問題の早急な改善の必要性を受け止めさせました。7月に予定されている参議院選挙でも争点のひとつになるでしょう。来年度予

算に反映させていくことをまずはひとつの目標に、「給付型奨学金制度の創設・無利子枠の拡大や返済困難者の救済・学費の引き下げや教育費負担の軽減」の実現に向けて今後とも中央労福協や全国の地方労福協、そして加盟団体や多くの市民と連携して取り組みを進めて参りたいと思います。

ところで格差・貧困の問題は子供や若者はもちろんのことあらゆる世代で拡大しています。不安や孤立が社会に広がり社会の基盤が揺らいでいます。今こそ、私たちは「公助機能」の一層の強化を求めると同時に労働者自主福祉事業団体・協同組合との連携による「共助機能」を自ら發揮する取り組みを強化していかなくてはなりません。千葉県労福協は皆さんと一緒に本年もその実現のため全力で奮闘していくことをお誓いし、ご挨拶といたします。

野田市パーソナルサポートセンター



野田市生活困窮者自立相談支援事業、 2年目の事業を開始!!

名、就労支援員3名（非常勤）で常時3名程度の体制で、平日の9時から17時の受付時間で事業を推進しています。

支援員が生活の困りごとや不安を抱えている相談者のご相談を受けて、どのような支援が必要かを相談者と一緒を考え、具体的な支援プランを作成し、寄り添いながら自立に向けた支援を行っています。事務所での相談支援、アウトリーチ（訪問支援）や同行支援等を相談者の気持ちに添って行っています。また、野田市生活支援課のご指導や、中核地域生活支援センターをはじめとします関係機関との連携やご協力により支援が進められています。

相談内容は、複合的で深刻な内容が多く、相談者や継続支援者は増加を続けていますが、専従スタッフの皆さんが懸命な努力で取り組んでいます。

千葉県労働者福祉協議会では、生活困窮者自立相談支援事業を受託し、野田市パーソナルサポートセンターとして事業に取り組んできました。そして本年4月1日より引き続き本事業を受託し2年目の取り組みをスタートしました。

事業内容は、「自立相談支援事業」、「住居確保給付金に係る受付等業務」、「学習支援の「ステップアップセミナー」事業に係る受付等業務」です。

野田市パーソナルサポートセンターは主任相談支援員1名、相談支援員1

ちばライフサポートセンター



「くらし何でも相談」受付中!!

内容は社会情勢を反映し多岐にわたり、加えて深刻でかつ複合する相談が寄せられています。内容によっては、中核地域生活支援センターを始めとする支援団体を紹介するなど連携をはかって取り組んでいます。また、状況によっては、生活困窮している相談者への生活保護申請支援やフードバンクちばとの連携による緊急食糧支援等々の対応も行っています。

ぜひ、日常生活で起こるトラブルや悩み事など、どこに相談すればいいのか分からないときには「くらし何でも相談」をご利用ください。相談は無料、秘密厳守ですので、どなたでもお気軽にご相談ください。お待ちしております。

「くらし何でも相談」を実施している「ちばライフサポートセンター」は、2008年6月に任意団体として設立し、2011年7月にリニューアルオープンして、相談員による電話相談を中心に取り組んできました。2013年10月からは、千葉県労働者福祉協議会の本事業として取り組んでいます。事務所は千葉県福祉協内に設置し、現在、相談員による電話相談（平日10時～17時）、専門家による面接相談（月1回・予約制）を行っています。

「くらし何でも相談」では、法律相談、多重債務、労働相談、くらし相談、子育て等の相談を行っています。相談





第15回 定期総会

5月29日(日)、UAセンセン千葉県支部会議室(千葉県労働協会の隣)において、NPO法人子育て支援グループ「ハミングちば」の第15回定期総会が会員16名(委任状9名)の出席のもとに開催されました。

総会の開催にあたり小柳理事長より、「事業計画に基づき、子育て支援事業に取り組みとともに、今後の進むべき道について検討し取りまとめてきました。その方向は、公的支援の充実強化やハミングちばの実態を踏まえ、子育て支援の一定の役割は終了したものと判断し、事業を終わらせていくとしました。2016年度の事業計画(案)においては、ハミングちばの終息に向けた諸準備を進める一年として位置付け事業を推進していくこととしました。ぜひ、皆さまのご理解をお願い申し上げます。」との挨拶がされました。



小柳理事長

その後、来賓として千葉県労働者福祉協議会黒河会長、連合千葉鈴木会長より連帯と激励の挨拶を頂きました。

審議事項では、2015年度事業報告・収支決算報告・監査報告が承認され、引き続き2016年度事業計画・収支予算・役員及び報酬に関する件が満場一致で承認されました。

その後、総会を一時中断し理事会が開催され、総会再開後、理事会で小柳理事長、檜原副理事長、福原事務局長が選任された旨の報告があり満場の拍手で確認されました。

本総会で、永年ご尽力を頂きました伊藤豊子さん(前副理事長)、吉川洋子さん(前理事)、上斗米久枝さん(前理事)が退任されました。退任された前役員に感謝し、そ

2016年度役員

理事長	小柳 光 廣
副理事長	檜原 恵 美 子
事務局長	福原 正 子
理事	山科 眞 澄
理事	加賀谷 ゆかり
監事	小松 正
監事	齋藤 政 洋



して、大きな節目となる2016年度に役員全員が一丸となって取り組んでいく決意のもとに総会が終了しました。

この14年間、支えて頂きました個人・団体賛助会員の皆様に、しあわせの誌面をお借りし感謝申し上げますとともに、これからもハミングの仲間として、ともに歩みお支え頂きますようお願い申し上げます。

第87回

千葉県中央メーデー開催!



構成組織の皆さん



挨拶に立つ鈴木実行委員長（連合千葉）



◎×クイズ



ミニスカイライナー乗車体験



乗馬体験

支え合い 助け合う 心をひとつに力を合わせ、 暮らしの底上げを実現しよう!

2016年4月29日（金）千葉ポートパーク円形広場において、約6,500名の参加のもと、第87回千葉県中央メーデーを開催しました。

式典は、鈴木実行委員長の挨拶に続き、諸橋千葉県副知事、熊谷千葉市長をはじめ、民進党・社民党代表の挨拶、小西参議院議員からの決意表明を頂戴しました。その後、青年委員会 高橋委員長によるメーデー宣言と五十嵐副実行委員長による特別決議が提案され、満場の拍手で採択されました。本メーデーの特別決

議では、①将来世代への責任を果たし、真面目に働き生活を営む者が報われる、暮らしの底上げに繋がる政策の推進、②誰もが働き続けられる良質な雇用と労働条件の確保、安心・安全に暮らすための社会的セーフティネットの拡充、③立憲主義と民主主義に立脚し、基本的人権、平和主義などの普遍的価値を尊重する健全で緊張感ある政治の確立の3点を取り組むことを確認する場となりました。

祭典では、千葉ロッテマリーンズ

キャラクターのズーちゃんとMDAインストラクターによるダンス&トークショーや〇×クイズで大変盛り上がりました。また、広場では、強風によりファーファー遊園地が中止となりましたが、恒例のミニスカイライナー乗車体験や乗馬体験では、多くの組合員の家族に楽しんで頂きました。

今回のメーデーは、熊本地震後の開催となったため、チャリティ金の扱いについては、連合本部を通じて、熊本県を中心とする被災県に対して義援金として拠出することとしました。

熊本地震によりお亡くなりになられた方に対して、哀悼の意を表しますとともに被災された方々にお見舞いを申し上げます。

政策討論集会を開催！



連合千葉 鈴木会長



政策委員会 椎名委員長



長浜参議院議員

2016年5月28日(土) 10時半より、千葉県教育会館において、78名の参加により、連合千葉「政策討論集会」を開催しました。

冒頭、主催者を代表し、政策委員会の椎名委員長より、「本日参加された方々から多くのご意見を頂戴し、政策項目を取りまとめ、千葉県に手交して行きたい」との挨拶がされました。また、連合千葉鈴木会長からは、「連合の目指す政策実現のためには、実のあるものにして頂きたい」との挨拶がされました。

今回は、民主党政権時代の社会保障と税の一体改革担当の官房副長官であった、長浜参議院議員より、「社会保障制度の現状と課題」～「民進党の取り組み」という演題で講演を頂き、社会保障制度と税の一体改革が待ったなしの状態であることを、参加者全員で共有しました。その後、政策担当の滝本副事務局長より、政策項目素案の考え方の説明を受け、午後からの3つの分科会において、政策項目に対する意見を出し合いました。

今後は、政策委員会において、頂戴した意見の最終まとめを行い、千葉県に提言していきます。

連合千葉 政策の3つの柱

1. 経済産業
2. 雇用の安定・創出
3. 生活の安心・安定



救援カンパ活動を行う構成組織の皆さん



救援カンパ活動を行う福祉団体の皆さん

熊本を支援しよう！

支え合い 助け合い

連合千葉は、熊本県を中心とする地震に対して、連合関東ブロックと連携して、ボランティア活動、救援カンパ等の活動を実施していくことを決定しました。連合本部・連合千葉ならびに地域協議会の取り組みについては、以下のとおりです。

1. 連合本部の対応
 - (1) 「特別救援カンパ」の実施
 - 被災された方々の救援と復旧支援の見地から、熊本県をはじめとする被災各県に対して義援金を拠出します。
 - (2) 現地にベースキャン
 - ① 第1次集約：5月16日(月) 送金金額 1,000,000円
 - ② 第2次集約：6月20日(月)
 - ③ 第3次集約：9月30日(金)
2. 連合千葉の対応
 - (1) 連合関東ブロックと連携して、ベースキャンに運営スタッフを派遣します。
 - (2) メーカーや街頭等で救援カンパ活動を実施します。
 - (3) 各地域協議会や地区連絡会に対して、メーカーや街頭等でのカンパ活動の取り組みを要請します。
3. 救援カンパの取り組み
 - (1) 救援カンパ活動の取り組みは、9月末日まで実施します。
 - (2) 救援カンパの集約について
 - ① 第1次集約：5月16日(月)
 - ② 第2次集約：6月20日(月)
 - ③ 第3次集約：9月30日(金)

※ 5月29日、連合神津会長から熊本県知事に、各地方連合会からお預かりしたカンパ金から1億円を「義援金」として手渡しました。

ますます便利に

提携ATMを拡大しました！

〈ろうきん〉は、はたらく仲間がお互いを助け合うために資金を出し合っつった協同組織の金融機関です。全国に13の〈ろうきん〉があり、〈中央ろうきん〉は1都7県を営業エリアにしています。企業への融資が中心の銀行とは異なり、お預かりした資金は住宅、教育、マイカーなど個人の方向けへの融資が99%を占めています。〈ろうきん〉は福祉金融機関の視点から、はたらく皆様の生活防衛、生活設計、生活改善を支援するために、様々な商品提供を行っております。

今般、勤労者の皆様へのサービス・利便性向上を図るために、下記の通り提携ATMの拡大をいたしました。ATM手数料は〈全額キャッシュバック〉させていただきます。

このネットワークおよびサービスを活用することで、より一層皆様方の利便性が高まります。『あんしん創造バンク』「～働く人のベスト金融アドバイザーとして～」をお客様に感じて頂けるよう、より良いサービスのご提供に尽力していきますので、まだ給与振込の指定を〈ろうきん〉にご指定でない方は、是非この機会にはたらく仲間のための福祉金融機関〈ろうきん〉をご活用いただきますようお願い申し上げます。

ファミリーマート、
サークルKサンクス、
デイリーヤマザキ、
ポプラ、スリーエフなど

■提携先ATM一覧

セブン銀行	ローソン	イーネット
現行	3月28日より	3月28日より
入金・出金・残高照会	入金・出金・残高照会	入金・出金・残高照会
24時間365日	24時間365日	24時間365日
イオン銀行	ビューカード	MICS
1月1日から	3月28日より	1月1日から
入金・出金・残高照会	出金・残高照会	出金・残高照会
連日8～21時	始発～終電まで	連日8～21時

※カードローンはご利用できません。 ※MICSとは全国の銀行・信金・信組が加盟する提携ネットワーク

ご利用時間内はお引き出しお預け入れが可能! しかも手数料「0円」

全労済千葉県本部主催

〈団体生命共済ステップアップ50〉

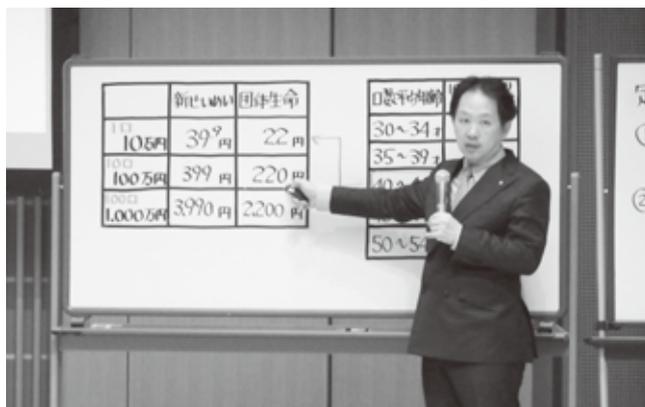
2016年度キックオフセミナーを開催

2016年5月16日（月）午後3時30分から京葉銀行文化プラザ3階音楽ホールにおいて、キックオフセミナーを開催しました。当セミナーには県下の協力団体より53団体・69名の労働組合役員・労済担当者の方へ出席いただき、団体生命共済全員一律加入を実施することのメリット、「生涯掛金の削減による可処分所得拡大のポイント」等について理解を深めました。

研修テーマ

「労働組合における保障設計の実践」

講師 生活経済研究所長野塚原 哲氏



参加者アンケートより(抜粋)

- ・とても分かりやすく内容説明がされ、一律加入拡充の大切さを実感しました。
- ・一律拡充による料率を下げる事のメリットが本当に勉強になりました。労組としてのやるべき事についても意識づけができました。
- ・今回のセミナーで団体生命共済の良さがわかった。できれば、当労組に来てもらい、一度、セミナーを開催してほしい。それをもって、執行部は力を得て取り組んでいきたい。

適格消費者団体を
めざすNPO法人

「消費者市民サポートちば」準備会結成集会在開催されました

5月15日（日曜日）、千葉県弁護士会館を会場に、適格消費者団体をめざすNPO法人「消費者市民サポートちば」準備会結成集会在開催され、弁護士・司法書士・消費生活相談員・消費者法制の研究者などの専門家、消費者団体など諸団体から合わせて約60名が参加しました。

集会では、適格消費者団体「埼玉消費者被害をなくす会」理事長で弁護士の池本誠司氏が「適格消費者団体の活動実績と展望」と題して記念講演をおこなった後、規約・役員・今後の活動について確認し、弁護士の拝師徳彦氏が準備会会長に選任されました。



準備会会長
弁護士 拝師徳彦氏



「埼玉消費者被害をなくす会」理事長
弁護士 池本誠司氏

2017年3月までに法人格を取得し、活動実績を積んで2019年度に適格消費者団体の認定をめざします。千葉県生協連は、千葉県労福協とともにこの間の準備に協力してきました。生協連は、準備会および法人格取得後の事務局を担当します。

消費者団体訴訟制度と適格消費者団体について

消費者契約法に基づき、消費者団体訴訟制度が2007年6月からスタートしました。この制度は、消費者被害の未然防止と拡大防止を目的とし、内閣総理大臣から認定を受けた適格消費者団体に、事業者の不当な行為（不当な契約事項や不当な勧誘行為）の差止請求の訴訟を起こす権利を認めた制度です。その後「特定商取引法」や「景品表示法」、「食品表示法」にも消費者団体訴訟制度が適用されるようになりました。

また本年（2016年）10月から、適格消費者団体のうち更に認定を受けた「特定適格消費者団体」が差止請求訴訟に加えて、消費者被害の回復訴訟を起こして金銭的な被害を回収することができる制度がスタートします。

こうした制度のもとで設立された全国の適格消費者団体は、会員や消費者からの被害情報を分析し、トラブルの発生している英会話学校などのカルチャークラス・予備校・不動産会社・冠婚葬祭事業者・通信会社・中古自動車販売会社・歯科医院・美容外科・有料老人ホームなどに申し入れをおこない、多数の約款や広告等の改善を実現しています。

現在、消費者機構日本（東京）、消費者支援機構関西（大阪）、全国消費生活相談員協会（東京）、京都消費者契約ネットワーク、消費者ネットワーク広島、ひょうご消費者ネットワーク、埼玉消費者被害をなくす会、消費者支援ネットワーク北海道、消費者被害防止ネットワーク東海（愛知）、大分県消費者問題ネットワーク、消費者支援機構福岡、消費者支援ネットワークまもと、消費者ネットワークおかもと、佐賀消費者フォーラムの14団体が、適格消費者団体の認定を受け活動している他、全国10以上の県で適格消費者団体設立に向けた準備がすすまっています。

第12回 勤労者ボウリング大会 開催される!!



2016年1月30日(土)
VEGAアサヒボウリングセ
ンターにおいて第12回千葉県
勤労者ボウリング大会が開催
されました。前回は2年ぶり
の再開となり、今回は新たな
会場での開催となりましたが、
多くの皆さんに参加を頂きま
した。地区労協での予選会を勝ち上がってきたチームや長年に
渡り参加頂いてきた労働組合、福祉事業団体からも参加頂き、和
やかでかつ真剣な大会となりました。また、
表彰式も多くの皆さんに参加頂き、明るく
楽しく盛り上がった表彰式となりました。
ご協力に感謝申し上げますとともに、次年
度はより多くの参加者が集う大会にしてい
きますので一層のご協力をお願いいたします。



団体の部

- 優勝 | 千葉三立梱包運輸A (立元・佐藤・君島・小山) | 団体スコア 1449
準優勝 | 千葉三立梱包運輸B (森・山田・鈴木・大日方) | 団体スコア 1393
3位 | 千葉市地区労協B (横山・渡辺・伊藤・渡辺) | 団体スコア 1307

個人の部

- 優勝 | 鈴木 克己 (千葉三立梱包運輸B) | 2Gトータルスコア 412
準優勝 | 君島 住男 (千葉三立梱包運輸A) | 2Gトータルスコア 410
3位 | 森 明広 (千葉三立梱包運輸B) | 2Gトータルスコア 392

第87回 千葉県中央メーデーで 労働者福祉運動・事業を紹介する!

2016年4月29日(金)に開催された第
87回千葉県中央メーデーにおいて、中央労働
金庫千葉県本部、全労済千葉県本部、千葉県
労働者福祉協議会は、共同して出展等を実施
しました。こども遊具の「ふぁーふぁー」は、
NPO法人子育て支援グループ「ハミングチ
ば」にもご協力を頂きましたが、全ての準備
を整えた後に風が強まり安全上中止としまし
た。

福祉団体のテント内では、各団体の事業等
の紹介のパネル展示や相談コーナーの設置を
行うとともに、チラシ等の配布を行い、労働
者福祉運動、労働者自主福祉事業について、
メーデー参加
の多くの皆さ
んに紹介がさ
れました。ま
た、千葉県労
働者福祉協
議会が連携・
支援している
「フードバン
クちば」の活
動紹介も行な
われました。



各地区労福協の活動

千葉市地区労福協

第40期定期総会開催される

千葉市地区労福協は、5月24日、役員9名、代議員39名参加のもと、第40期定期総会を開催しました。

冒頭、平野会長より、日頃の労福協運動への協力に対するお礼を含めた挨拶を受けた後、高梨事務局長より、第39

期活動経過ならびに会計・監査結果を報告し、承認されました。

審議事項では、第40期の活動方針、収支予算、役員体制が提案され、各議案とも満場一致で可決されました。

今年度も会員組織間の横の



つながりを大切にしな
がら、千葉
市内で働く
勤労者・在
住者の福祉
向上に向け
一丸となっ
て取り組ん
でいく所存
です。引き
続き、皆様
のご協力を
お願い致し
ます。

市川・浦安地区労福協

復活！第16回ファミレクイン東京ベイ潮干狩り

市川・浦安地区労福協は、労働金庫・全労済との共催で6月4日（土）、船橋市・三番瀬海浜公園で6年振りとなる第16回ファミレクイン東京ベイ潮干狩りを開催しました。今回は初めての6月開催ということもあり天候が懸念されましたが、好天に恵まれ13組から406名が参加しました。



を博していました。しかし2011年の東日本大震災のため海浜公園が利用不可となり5年の間、開催が途絶えていました。

しかしその間も再開を望む声は多く、海浜公園も利用可能になったので幹事会において再開を決定はしましたが、公園利用規則など様々な条件が以前とは変わっており、通常の幹事会の他に対策会議をもうけ、約1年間の下準備を経てようやく復活開催となりました。

当日は幹事はじめ、準備を手伝ってくれる参加者が朝4時に集合し、打ち合わせの通りに、あるいは急な変更点を修正しつつなんとか潮干狩り開始時間までに準備を終えま

した。

その時点でお疲れぎみではありましたが、それを癒してくれたのはゲーム・輪投げなどで景品やお菓子をもらって喜ぶ子供たちの笑顔でした。中でも当日は気温も高く、かき氷にはとても喜んでもらえました。

最後は以前からの恒例、大抽選会で盛り上がり終了。大きな事故も無くなによりでした。

今回は「復活」と名付けてはいますがあくまでも「試行」であり、問題点を改善しつつ次回以降はさらに参加呼びかけを広げ、この行事を再び定着させていきたいと思えます。



奨学金制度改善に向けた取り組み



中央労福協の奨学金制度改善に向けた取り組みは、昨年10月の「若者の雇用と奨学金制度の改善に向けてのキックオフ集会」を皮切りに全国で運動を展開してきました。



中央労福協 神津会長

「給付型奨学金制度の導入・拡充と教育費負担の軽減を求める署名」活動では現在、303万筆を超える署名を集めています。

中央労福協と奨学金問題対策全国会議は3月22日に総理官邸で世耕弘成官房副長官に要請するとともに、参議院議員会館において院内集会を開催し、3月30日には、馳浩文部科学大臣に要請を行い、署名の目録と要請書を手渡しました。また、5月10日には衆議院第1議員会館において「若者の未来を支える奨学金制度を考える院内集会」を開催し、「奨学金政策の現状と課題」について文部科学省より説明頂き、「相談現場から見た救済制度の実情」を全国会議若重事務局長より報告を受け、その後、各政党の奨学金政策をお聞きするシンポジウムが行われました。「今後の取り組み」について中央労福協花井事務局長から説明がされました。中央労福協からこれからの第

2ステージの取り組みが提起されますが、千葉県労福協として引き続き全国の間取り組みを進めていきますので一層のご協力をお願いします。



東部ブロック 第207回 幹事会開催される!!

東部ブロック今後の予定

第208回幹事会・代表者会議・役員OB会：7/25(月)～26(火)・群馬

ライフサポート事業経験交流：8/5(金)～6(土)・千葉

事業団体責任者会議：9/1(木)～2(金)・茨城

第209回幹事会：10/17(月)～18(火)

第210回幹事会・第50回総会・50周年記念式典：12/1(木)

役職員研修会：2017年2月～3月

第10期福祉リーダー塾：前半6/17(金)～18(土)・後半8/26(金)～27(土) 終了式9/30(金)

2016年5月23日(月)新潟県佐渡市において、労働者福祉東部ブロック協議会第207回幹事会が開催されました。東部ブロック協議会は関東甲信越、静岡の1都10県の地方労福協で構成され、千葉県労福協の黒河会長が東部ブロック会長に就任されています。

2017回幹事会では、2016年度諸会議・行事の具体的取り組みについて協議がされ、今年度は、結成50周年の諸行事が予定されており一定の方向性が取りまとめられました。

ネットワーク団体活動のご紹介

千葉県労協は、「地域創造ネットちば」、「協同労働の協同組合ネットワークちば」、「フードバンクちば」、「消費者行政充実ネットちば」、「貧困問題を考える懇談会」、「ひと・くらしサポートネットちば」や「ちばごどもおうえんだん」等に参加し、市民との協同や幅広いネットワークで社会的課題に取り組んでいます。

この間の主な取り組みについて紹介・報告します。

千葉市里親制度推進 シンポジウム開催される！

2016年5月28日（土）千葉市ビジネス支援センター会議室において、「聞こえ！知ろう！つなげよう！子どもたちの未来を…」をテーマに千葉市里親制度シンポジウムが開催されました。主催者は千葉市、実施団体はNPO法人「ちばごどもおうえんだん」です。



熊谷市長

はじめに、千葉市児童相談所長より里親制度の紹介がされ、熊谷市長による主催者挨拶です。

挨拶、そして、「施設機能を生かした里親支援」として、児童養護施設千葉みらい響きの杜学園園長による報告、「家族として迎え、地域とともに生きる」を埼玉県の里親さんから、「里子との暮らし」を千葉県の里親さんからのお話しがされ、その後、「市長感想と発言者とのやり取り及び会場からの質問」が行われました。多くの皆さんに参加頂き、里親制度を知って頂き理解を深めるシンポジウムとなりました。

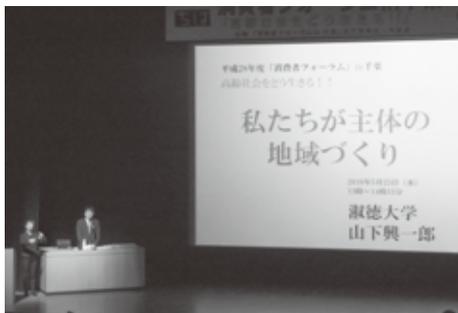
「平成28年度消費者フォーラムin千葉」開催される！

5月25日（水）千葉市文化センターにおいて、「消費者フォーラムin千葉」が千葉県と消費者フォーラムinちば実行委員会の主催で「高齢社会をどう生きる!!」をテーマに開催されました。実行委員会は、千葉県消費者団体連絡

協議会、千葉県生活協同組合連合会、消費者行政充実ネットちば等、17の団体が構成され、準備と実行にあたってきました。千葉県労協は「消費者行政充実ネットちば」の一員として参加しました。

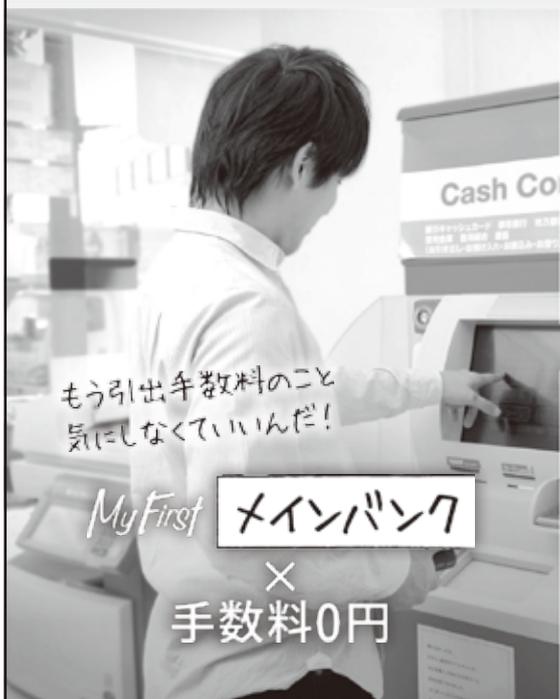
開会にあたり主催者として千葉県環境生活部玉田担当部長、小田川実行委員長から挨拶があり、続いて消費者庁福岡審議官の挨拶と消費者庁消費者支援功労者表彰が行われました。

功労表彰では「ベスト消費者サポーター章」を習志野市消費生活研究会が受賞されました。また、内閣総理大臣表彰を受賞された千葉県消費者相談員の会が紹介されました。消費者行政充実ネットちばに参加され一緒に取り組みを進めている千葉県消費者相談員の会のご努力に敬意を表し、受賞を心よりお祝い申し上げます。



続いて、「県の消費者行政」について千葉県の新村消費者安全推進室長より報告がされ、第一部基調講演では「私たちが主体の地域づくり」の演題で山下淑徳大学教授の講演があり、第二部「平成27年度県民提案事業の事例発表」では、「認知症でも安心して暮らせる地域を学校から作る」として我孫子市消費者の会から報告がされ、「特定非営利活動法人いちかわ市民文化ネットワーク」の消費者啓発「コント劇団「コントdeげき隊！」」による「消費者啓発コント劇団公演事業」が発表されました。また、会場ロビーでは消費者行政充実ネットちばをはじめ全14団体の活動をパネル展示で紹介がされ、相互の取り組みをより一層理解・共有する機会となりました。本フォーラムをとおし県民生活の向上が進むことが期待されます。

あなたの人生の“はじめて”を応援します！
給料振込口座は〈中央ろうきん〉がおすすめ！



《浮いた手数料で、プチ贅沢!》
ATM・CD引出手数料
キャッシュバックサービス



〈中央ろうきん〉のカードなら
銀行・ゆうちょ銀行・コンビニ
などでのATM引出手数料が
誰でも

0円

出勤前でも残業後でも、いつでも使えるATM /

セブン銀行
24時間利用可能

NEW! 2016.3.28より さらに便利! ATM利用時間延長!
VIEW ALTTE (ビューアルティ)
始発から終電まで毎日利用可能
net (ネット) など ATM
24時間利用可能

※設置場所や営業時間、メンテナンス等によりご利用いただけない場合があります。
※普通預金・貯蓄預金口座のお引出し、カードローン(マイプラン)のお引出しを対象に、1口座あたり何回でも、ATM・CDご利用時のお引出手数料が即時にご利用口座へキャッシュバックされます。※キャッシュバック回数に制限はありません。

詳しい内容は、〈中央ろうきん〉営業店までお問い合わせください。

※画像はイメージです。2016年6月1日現在

お問い合わせ・ご相談は 〈中央ろうきん〉千葉県本部 TEL.043-251-5162

ZENROSAI NEWS



変わりゆくニーズに
応えて、変わらない
安心をカタチに。

全労済の住みいる共済

①火災共済・②自然災害共済

③こくみん共済

④総合医療共済

⑤せいめい共済

⑥ねんきん共済

⑦マイカー共済

⑧自賠償共済

⑨団体生命共済

⑩交通災害共済

⑪新団体年金共済

⑫新セット移行共済

全労済は、営利を目的としない保障の生協として
共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとり
ある暮らしをめざしています。出資金をお支払い
いただいで組合員になれば、各種共済をご利用
いただけます。

保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

作品
募集

第61回

千葉・県民芸術祭
～文化でつなぐ千葉のちから～

千葉県勤労者美術展



会期 平成28年 8月30日(火)～9月4日(日)

会場 千葉県立美術館

部門 絵画・書・写真

申込締切 平成28年8月10日(水) ※郵送可、当日消印有効
なお、搬入日当日の受付は出来ませんので必ず事前に申込をして下さい。

主催 千葉県・(一社)千葉県労働者福祉協議会

後援 千葉市・株式会社千葉日報社・千葉テレビ放送株式会社

協賛 中央労働金庫千葉県本部
全労済千葉県本部
千葉県生活協同組合連合会

展示風景



※詳しくは下記までお問合せ下さい。

申込・問合せ

(一社)千葉県労働者福祉協議会

電話 043-241-6681

ホームページ <http://www.rfk-chiba.net>



各分野のプロがあなたの
ご相談にお答えします。

くらし何でも 相談ダイヤル

相談無料

どうしよう？



くらし相談

子育て

法律相談

労働相談

多重債務

ちばライフサポートセンター

いつでも そうだん よい よい

0120-53-4141

悩むより
まずは
お電話を！



受付時間

平日 午前10:00～午後5:00

<http://www.chiba-lsc.jp>

実施団体：一般社団法人 千葉県労働者福祉協議会(略・労福協)